

○ 治癒証明(登園許可書)が必要な病気

感染症名	感染しやすい期間	登園の目安
麻疹(はしか)	発症後の1日前から 発疹出現後の4日後まで	解熱後3日を経過してから
インフルエンザ	症状がある期間(発症前24時間から発熱後 3日程度までが最も感染力が強い)	発症した後5日を経過し、かつ解熱した後 3日を経過するまで
風しん	発疹出現の7日前から 後7日間くらい	発しんが消失してから
水痘(水ぼうそう)	発疹出現1~2日前から痂皮 (かさぶた)形成まで	すべての発しんが痂皮化(かさぶた)して から
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	発症3日前から耳下腺腫脹後4日	耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫脹が発現して から5日後を経過するまで、 かつ全身状態が良好になるまで
結核		医師により感染の恐れがないと 認められるまで
咽頭結膜熱(プール熱)	発熱、充血等症状が出現した 数日間	主な症状が消え2日経過してから
流行性結膜炎	充血、目やに等症状が出現した 数日間	感染力が非常に強いため、結膜炎の 症状が消失してから
百日咳	抗菌薬を服用しない場合、咳出現後 3週間を経過するまで	特有の咳が消失するまで又5日間の 適正な抗菌性物質製剤による 治療を終了するまで
腸管出血性大腸菌感染症 (O157、O26、O111等)		症状が治まり、かつ抗菌薬による治療が終 了し、48時間をあけても連続2回の検便 によって、いずれも菌陰性が確認されたも の
急性出血性結膜炎	ウイルスが呼吸器から1~2週間、 便から数週間~数か月排出される	医師により感染の恐れがないと 認められるまで
髄膜炎菌性髄膜炎		医師により感染の恐れがないと 認められるまで

「保育所における感染症対策ガイドライン」より

○登園の目安

病名	感染しやすい期間	登園の目安
溶連菌感染症	適切な抗菌薬治療を開始する前と 開始後1日間	抗菌薬内服後24~48時間経過 している
マイコプラズマ肺炎	適切な抗菌薬治療を開始する前と 開始後数日間	発熱や激しい咳が治まっていること
手足口病	手足や口腔内に水疱・潰瘍が発症 した数日間	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響が なく普段の食事がとれること
伝染性紅斑(りんご病)	発疹出現前の1週間	全身状態が良いこと
ウイルス性胃腸炎 (ノロ・ロタ・アデノウイルス 等)	症状のある間と症状消失後1週間 (量は減少していくが数週間ウイルスを排 出しているので注意が必要)	嘔吐、下痢等の症状が治まり、普段の食事 が とれること

ヘルパンギーナ	急性期の数日間（便の中に1か月程度ウイルスを発生しているので注意が必要）	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく普段の食事がとれること
RSウイルス感染症	呼吸器症状のある間	呼吸器症状が消失し、全身状態がよいこと
帯状疱疹	水疱を形成している間	すべての発しんが痂皮化（かさぶた）してから
突発性発しん		解熱し、機嫌がよく全身状態が良いこと

「保育所における感染症対策ガイドライン」より

○ 症状でみる登園を控えるのが望ましい場合

発熱	<ul style="list-style-type: none"> 朝から37.5℃を超えた熱とともに元気がなく機嫌が悪い 食欲がなく、朝食、水分が取れていない 24時間以内に解熱剤を使用している 24時間以内に、38℃以上の熱が出ていた 発熱と共に発しんができた 	嘔吐	<ul style="list-style-type: none"> 24時間以内に2回以上の嘔吐がある 嘔吐に伴いいつもより体温が高めである 食欲がなく水分も欲しがらない 機嫌が悪く、元気がない 顔色が悪く、ぐったりしている
下痢	<ul style="list-style-type: none"> 24時間以内に2回以上の水様便がある 食事や水分を取ると下痢がでる 下痢に伴い、体温がいつもより高めである 朝、排尿がない 機嫌が悪く、元気がない 顔色が悪く、ぐったりしている 	咳	<ul style="list-style-type: none"> 夜間しばしば咳のために起きる 喘鳴や呼吸困難がある ・呼吸がはやい 37.5℃以上の熱を伴っている 食欲がなく朝食、水分がとれていない 機嫌が悪く、元気がない 少し動いただけで咳がでる。